



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 上席執行役員 CEO （氏名）宮本 貴志
問合せ先責任者 （役職名）取締役 上席執行役員 CFO （氏名）原井 義昭 TEL 03(6721)7770
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	18,998	3.8	609	—	1,074	240.3	△601	—
2024年9月期第3四半期	18,307	△18.6	△695	—	315	△85.1	△435	—

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 4,934百万円（－％） 2024年9月期第3四半期 △503百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△4.68	—
2024年9月期第3四半期	△3.39	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期第3四半期	82,014	73,798	90.0
2024年9月期	79,805	71,387	89.4

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 73,790百万円 2024年9月期 71,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2025年9月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期3Q	130,230,769株	2024年9月期	130,144,640株
2025年9月期3Q	1,778,904株	2024年9月期	1,778,834株
2025年9月期3Q	128,423,194株	2024年9月期3Q	128,336,047株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。当第3四半期連結累計期間において、エンターテインメント事業では、ユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識した既存タイトルの運営及び新規タイトルの開発に注力してまいりました。投資育成事業では、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資及び売却に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,998百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は609百万円（前年同四半期は695百万円の営業損失）、経常利益は1,074百万円（前年同四半期比240.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は601百万円（前年同四半期は435百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にゲームの開発・運営を行っております。

当第3四半期連結累計期間において、スマートフォン向けゲームでは新作タイトル「異世界∞異世界」、「神魔狩りのツクヨミ」の配信を開始しました。また、「ドラゴンクエストウォーク（企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社）」が好調に推移し、引き続き当社グループの連結業績に貢献しました。一方で、一部既存タイトルにおける配信期間の長期化に伴う売上通減により減収となったほか、新作リリースに伴い広告宣伝費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は16,856百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業損失は825百万円（前年同四半期は528百万円の営業損失）となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主に国内外のIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当第3四半期連結累計期間において、主に株式会社タイミーの株式売却等による収益が発生しました。また、保有する営業投資有価証券の一部について減損処理を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は2,142百万円（前年同四半期比416.7%増）、営業利益は1,432百万円（前年同四半期は168百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は63,896百万円（前連結会計年度末比3,370百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金と売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

また、固定資産は18,117百万円（同5,580百万円増）となりました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は82,014百万円（同2,209百万円増）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,912百万円（同1,655百万円減）となりました。これは主に、未払金が減少したことによるものであります。

また、固定負債は3,303百万円（同1,454百万円増）となりました。これは主に、その他の固定負債が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は8,216百万円（同201百万円減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は73,798百万円（同2,410百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示はいたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,250	49,288
売掛金及び契約資産	4,206	3,208
営業投資有価証券	10,166	9,390
棚卸資産	540	578
その他	2,119	1,571
貸倒引当金	△17	△140
流動資産合計	67,267	63,896
固定資産		
有形固定資産	1,641	1,534
無形固定資産	15	35
投資その他の資産		
投資有価証券	7,588	14,827
その他	3,304	1,720
貸倒引当金	△11	△0
投資その他の資産合計	10,880	16,548
固定資産合計	12,537	18,117
資産合計	79,805	82,014
負債の部		
流動負債		
未払金	2,734	1,179
未払法人税等	245	214
その他	3,588	3,517
流動負債合計	6,567	4,912
固定負債		
長期借入金	999	499
資産除去債務	759	719
その他	90	2,084
固定負債合計	1,849	3,303
負債合計	8,417	8,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,635	6,656
資本剰余金	6,373	6,394
利益剰余金	61,764	58,596
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	70,128	67,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	814	6,613
為替換算調整勘定	437	176
その他の包括利益累計額合計	1,251	6,790
非支配株主持分	7	7
純資産合計	71,387	73,798
負債純資産合計	79,805	82,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	18,307	18,998
売上原価	13,698	12,861
売上総利益	4,608	6,137
販売費及び一般管理費	5,303	5,528
営業利益又は営業損失(△)	△695	609
営業外収益		
受取利息	252	263
為替差益	541	70
投資有価証券売却益	236	42
デリバティブ運用益	17	—
雑収入	60	133
営業外収益合計	1,109	509
営業外費用		
投資有価証券評価損	54	—
投資有価証券売却損	23	30
雑損失	20	13
営業外費用合計	98	44
経常利益	315	1,074
特別損失		
減損損失	38	1
投資有価証券評価損	—	1,449
特別損失合計	38	1,451
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	277	△376
法人税等	712	227
四半期純損失(△)	△435	△603
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△435	△601

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△435	△603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	5,798
為替換算調整勘定	90	△260
その他の包括利益合計	△68	5,538
四半期包括利益	△503	4,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△503	4,936
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年10月1日至2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,892	414	18,307	—	18,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,892	414	18,307	—	18,307
セグメント損失(△)	△528	△168	△696	1	△695

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年10月1日至2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,856	2,142	18,998	—	18,998
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,856	2,142	18,998	—	18,998
セグメント利益又は損失(△)	△825	1,432	607	2	609

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	187百万円	181百万円